

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第42週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (42 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：報告なし。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：レジオネラ症 2 例。
- 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、梅毒 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	30歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1)
4類	レジオネラ症	宮崎市	60歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、意識障害、肺炎
		高鍋	60歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、下痢、意識障害、肺炎、多臓器不全
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	60歳代	男	—	ショック、肝不全、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、DIC、軟部組織炎、中枢神経症状
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、梅毒性バラ疹
		延岡	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 871 人(定点当たり 24.2)で、前週比 74%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎及び手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 56 人(1.0)で、前週比 60%と減少した。延岡(3.3)、日向(2.3)、高千穂(1.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

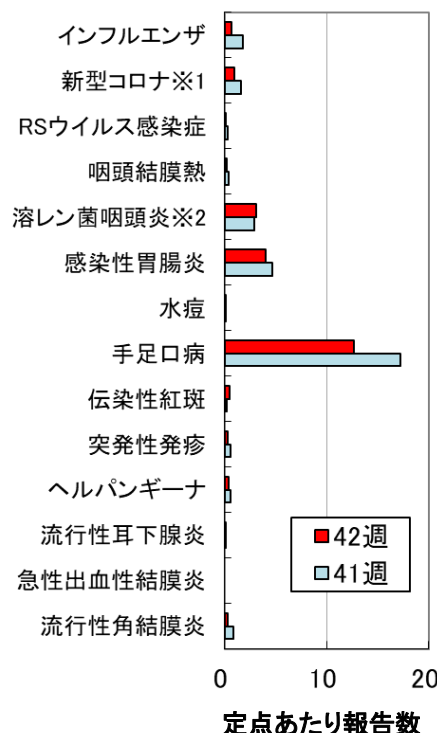
報告数は 112 人(3.1)で、前週比 107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.8)の約 1.7 倍であった。日南(6.7)、延岡(6.3)、高鍋(4.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 6 歳から 8 歳が全体の約 4 割を占めた。

【手足口病】

報告数は 457 人(12.7)で、前週比 74%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.7)の約 4.8 倍であった。宮崎市(21.4)、中央(18.0)、延岡(13.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 5 歳が全体の約 8 割を占めた。

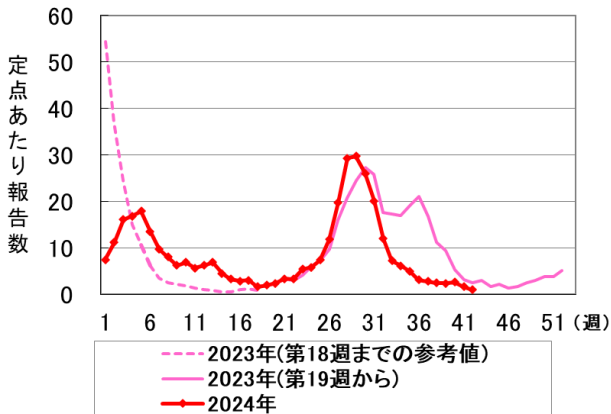
* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

《前週との比較》

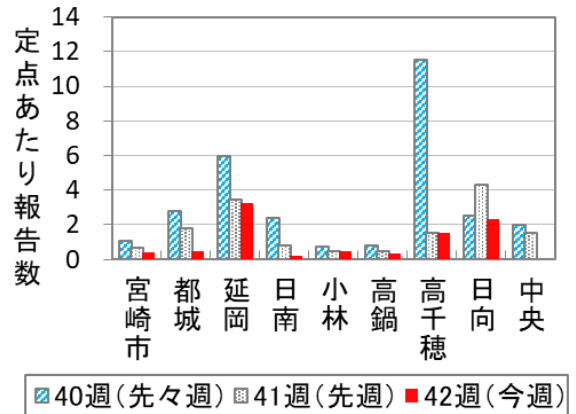


※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

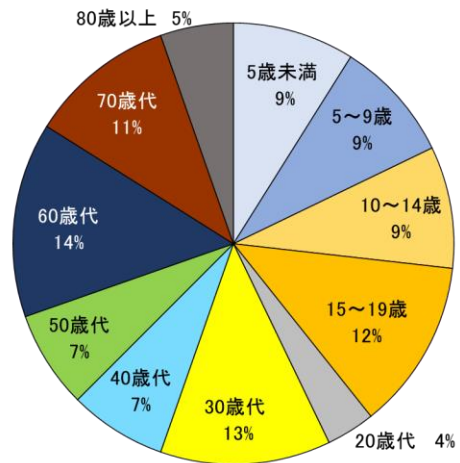


新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

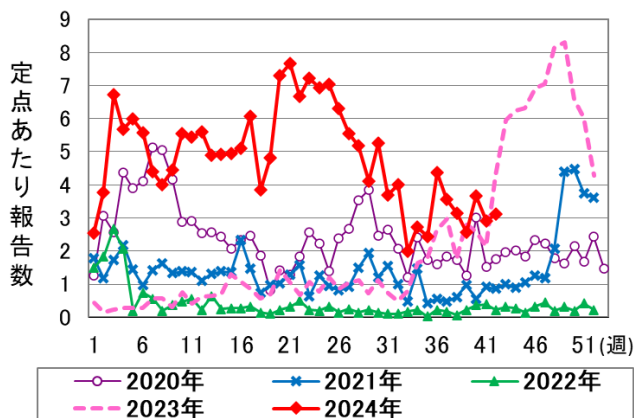


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

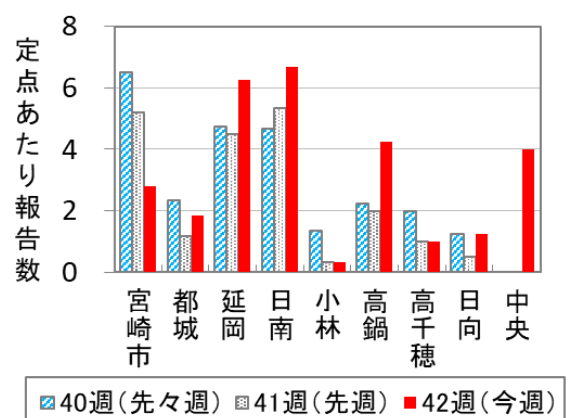
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第42週)

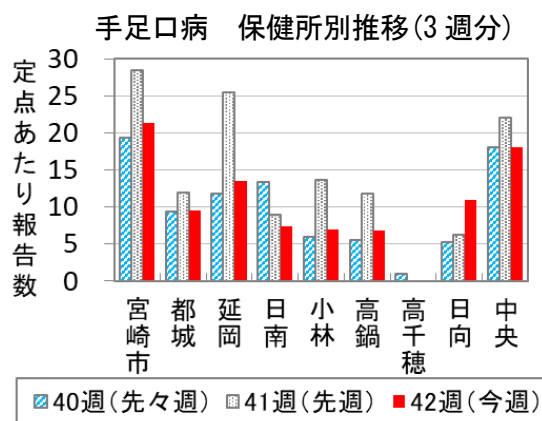
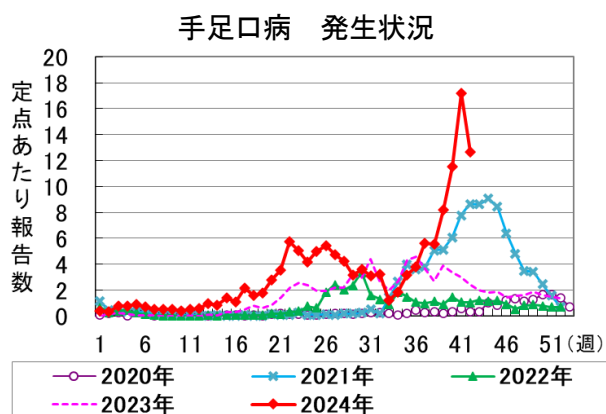


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)





★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：高鍋(3例)、日向(2例)、延岡(1例)保健所から報告があった。年齢は10～14歳が4例、5～9歳が2例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(21.4)
都城	手足口病(9.5)
延岡	水痘(1.0)、手足口病(13.5)、伝染性紅斑(2.5)
日南	手足口病(7.3)
小林	手足口病(7.0)
高鍋	手足口病(6.8)
高千穂	なし
日向	手足口病(11.0)
中央	手足口病(18.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・手足口病(5)
- ・伝染性紅斑(2)

* 流行注意報レベル基準値*

- ・水痘(1)

全国 2024 年第 41 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし			
2類感染症	結核	215 例		
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	129 例
	パラチフス	1 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	3 例
	ジカウイルス感染症	1 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	2 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	51 例
5類感染症	アメーバ赤痢	1 例	ウイルス性肝炎	2 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	6 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18 例
	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	16 例	水痘(入院例)	7 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例
	百日咳	139 例	麻しん	1 例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	33 例
			クリプトスポリジウム症	1 例
			後天性免疫不全症候群	18 例
			侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例
			梅毒	205 例
			バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 108%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、手足口病で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 11,717 人(2.4)で前週比 78%と減少した。北海道(4.0)、茨城県(3.9)、千葉県(3.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

手足口病の報告数は 33,760 人(10.8)で前週比 125%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.2)の約 8.8 倍であった。愛媛県(28.3)、山形県(26.6)、富山県(25.3)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 5 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第42週(10月14日～10月20日)

疾病名		第41週	第42週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	106	39	2	13		10		14			
	定点当り	1.83	0.67	0.13	1.30	0.00	2.00	0.00	2.33	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	94	56	6	5	23	1	2	2	3	14	
	定点当り	1.62	0.97	0.38	0.50	3.29	0.20	0.50	0.33	1.50	2.33	0.00
RSウイルス感染症	報告数	10	1		1							
	定点当り	0.28	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	13	7	3	2	1			1			
	定点当り	0.36	0.19	0.30	0.33	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	105	112	28	11	25	20	1	17	1	5	4
	定点当り	2.92	3.11	2.80	1.83	6.25	6.67	0.33	4.25	1.00	1.25	4.00
感染性胃腸炎	報告数	167	144	61	23	2	17	9	11		13	8
	定点当り	4.64	4.00	6.10	3.83	0.50	5.67	3.00	2.75	0.00	3.25	8.00
水痘	報告数	5	5			4					1	
	定点当り	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	620	457	214	57	54	22	21	27		44	18
	定点当り	17.22	12.69	21.40	9.50	13.50	7.33	7.00	6.75	0.00	11.00	18.00
伝染性紅斑	報告数	9	16	5		10	1					
	定点当り	0.25	0.44	0.50	0.00	2.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	20	12	4		1		4	1		2	
	定点当り	0.56	0.33	0.40	0.00	0.25	0.00	1.33	0.25	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	20	13	7		4	1				1	
	定点当り	0.56	0.36	0.70	0.00	1.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1								1	
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	2	1	1							
	定点当り	0.83	0.33	0.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	10	6			1			3		2	
	定点当り	1.43	0.86	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	3.00		2.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～42週 保健所受理分)

2類感染症	結核	93例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	35例(1)		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	12例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	16例(1)
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症	14例
	梅毒	124例(2)	播種性クリプトコックス症	3例
	百日咳	44例		
			重症熱性血小板減少症候群	7例
			レジオネラ症	12例(2)
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
			後天性免疫不全症候群	2例
			水痘(入院例)	5例
			破傷風	2例

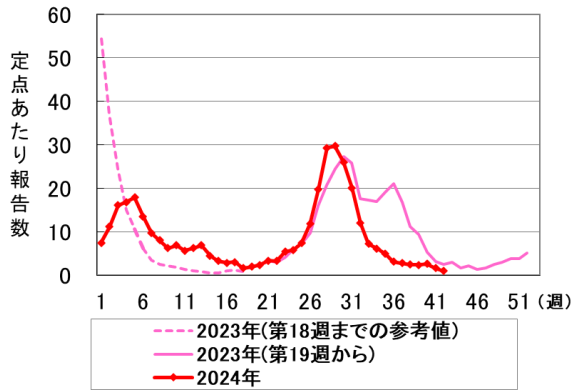
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第42週、全国第41週（再掲）》

□ 県内第42週 新型コロナウイルス感染症発生動向

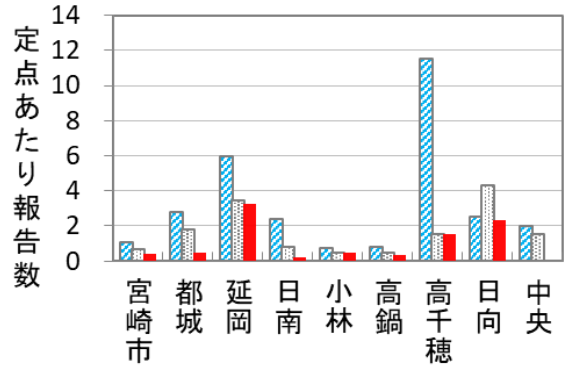
10月14日～10月20日までの1週間で56人(1.0)の報告があり、前週比60%と減少した。延岡(3.3)、日向(2.3)、高千穂(1.5)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況



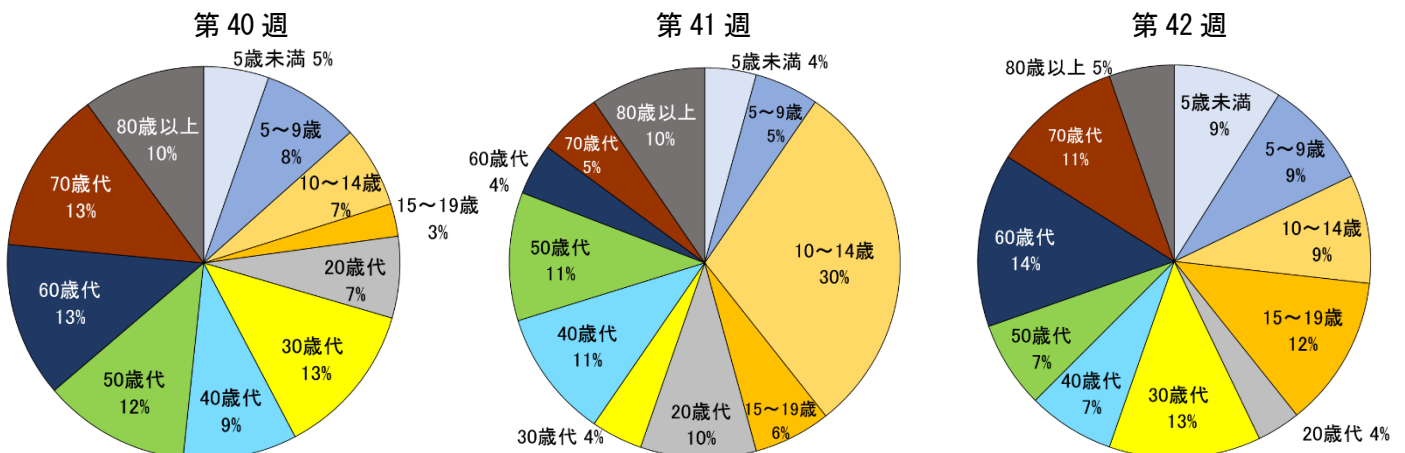
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

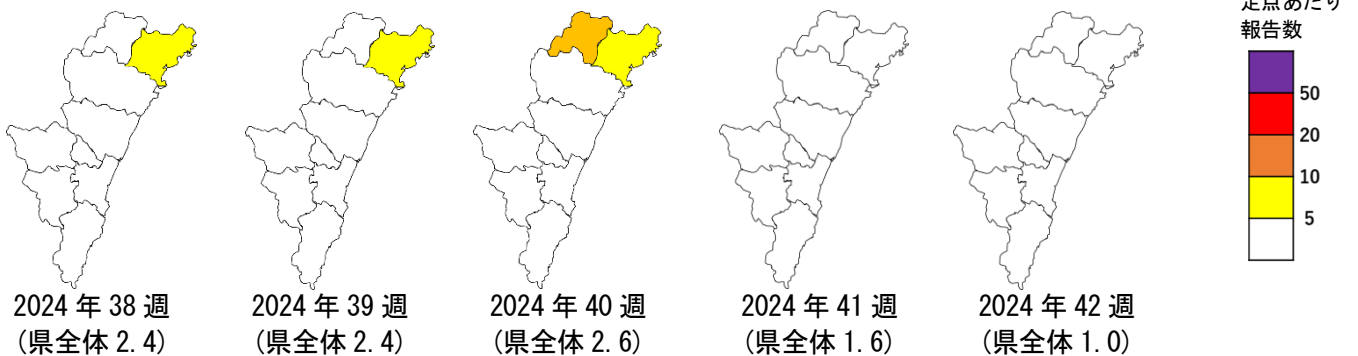


■40週(先々週) ■41週(先週) ■42週(今週)

新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第38週～2024年第42週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第41週 新型コロナウイルス感染症発生動向

10月7日～10月13日までの1週間で11,717人(2.4)の報告があり、前週比78%と減少した。北海道(4.0)、茨城県(3.9)、千葉県(3.7)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約2割を占めた。